

第5回岐阜県民スポーツ大会オリエンテーリング種目 2011,9,25

今から約40年前城山にパーマネントコースができ、3級指導員講習が行われた。以来何回かオリエンテーリング大会が開催されてきたが、それも15年ほど前を最後に途絶えていた。「いつか再び高山でオリエンテーリング大会を」という思いが今回ようやく実現した。残念ながら広報の不十分さから参加者は多いとは言えないが、日本のオリエンテーリング界で活躍するベテランも遠くから参加してくれた。



地元からは小学生から年齢合計150歳超のペアまでが参加。スタートでは、少々競技説明にてこずったが、みなやる気満々。合図とともに一斉に駆け出す姿には、少々感動を覚えた。スタート後約45分。150歳ペアとトップの国沢氏が帰ってきた。片や得点100点に対して一方は450点。両極端だがどちらもそれぞれのオリエンテーリングの楽しみを十分堪能したという点においては共通である。続いて、姉妹都市松本から参加の木村氏がゴール。こちらも満点ゴール。2人とも主催者の予想を上回るハイペース。ゴール後も2人してコースの検討をされている。ベテランにも十分楽しんでもらえて、開催する側としても大変嬉しい。制限時間60分ぎりぎりまでゴールするチームが続く、かなりのチームが時間をうまく使っていたことに感心する。少し減点をうけたチームもあったが、全員無事ゴール。ゴール後山王小では、優勝者のルートを紹介等、初心者とベテラン競技者との交流も行われたが、これもきっと今後の普及につながることに期待したい。

今回のトレイン高山城趾(城山)は1:5000でほぼA4いっぱい。やはり高山でオリエンテーリングといえば城山である。遊歩道が迷路のように伸び気持ちのよい森。一見アップダウンはあるが、細かい徒歩道が伸びているのでうまくつなげば、距離はのびても上りは回避できる。通行可能度を記入していないので、道をつないで走ることになるが、名所旧跡の他に市民も意外と知らない特徴物も豊富で楽しみも多い。コースセットについては、コントロール間の距離を考えて25個とした。スタートゴールの位置から三方向へ行くルートを想定し、バランスがとれるように配置した。これで、トップは60分を少し切って満点ゴールと予想したが、それ以上に速かった。突出した2人以外の選手にとっては、どこを捨てるかが重要な戦略となる。ベテランには物足りないだろうが初心者には適当ではなかったと思われる。

今回作成した地図を使って市民向けに年に1回は大会を開催できたら。市内の学校に地



図を紹介し野外活動で活用してもらえたら。「通行可能度を入れればミドル競技が楽しめそう」とご意見を実現できたら。さらには山王峠の南もつないで地図を作る。そして、本格的な大会を開いたら……。夢は広がる。 <橋本 八州馬>